

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】(中学校用)

都道府県名

島根県

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	日原町立日原中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数 13
学級数	1	1	2	0	4	
生徒数	37	39	43	0	119	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を支えに、たくましく生きる生徒の育成

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

少人数授業
 全学年・数学(生徒の理解の状況に差が出やすい教科であるため。)
 全学年・英語(生徒の理解の状況に差が出やすい教科であるため。)
 全学年・国語
 (全教科の学習に影響をあたえる読み・書きなどを担う教科であるが生徒の理解の状況に差があるため、15年度より加えた。)
 〓
 各教科(複数の教師及び地域の人材による効果的な学習を工夫するため。)
 一斉授業ほか
 各教科(確かな学力の支えとなる基礎・基本の定着を図る指導を研究するため。)
 多様な選択教科の開設
 各教科(生徒の興味・関心、特性に応じた多様な学習を展開するため。)
 朝読書、放課後補充学習、家庭学習定着のための取組(学びの機会充実のため)

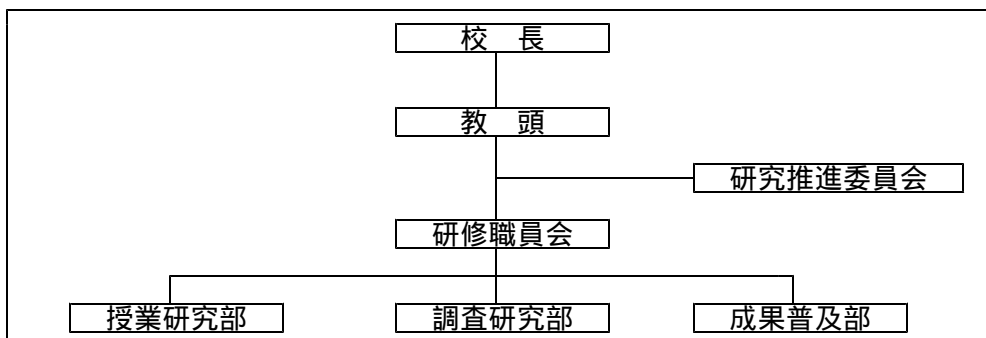
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 少人数授業・習熟度別授業のための指導方法・指導体制の工夫 研究の見通し(仮説) 少人数授業・習熟度別授業により、個に応じた分かる授業を展開すれば、基礎・基本の確実な定着を図ることができ、確かな学力の向上に資するであろう。 研究の内容・方法 実施学年・教科 1・3年の数学・英語 研究内容・方法 少人数授業・習熟度別授業の実施にあたり、その指導方法・指導体制を工夫する。 ・指導方法・指導体制、評価方法の検討(評価規準作成、通知表改訂) ・研究授業の実施 ・訪問指導の実施 ・少人数授業アンケートの実施 ・成果と課題についての検討</p>
--------	---

平成 15 年度	<p>テーマ 学びの喜びを引き出し、基礎・基本を定着させる指導の工夫 研究の見通し(仮説) 各教科において教師が生徒の意識や特性を把握して、指導方法・指導体制の工夫改善や教材開発、評価を生かした指導の改善を行えば、学びの喜びを引き出し、基礎・基本を確実に定着させることができるであろう。 * 14年度は数学・英語において、指導方法・指導体制について研究実践を行い一定の成果が得られたことから、15年度は数学・英語以外の教科にも実践研究の対象を広げることにした。</p> <p>研究の内容・方法 教科 国語・社会・数学・理科・音楽・技術・英語 研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 個に応じた指導を取り入れた単元・授業づくり、国語・英語における少人数授業の実施、TTの効果的な導入、選択教科における多様なコース開設、地域の人材を活用した授業づくり ・個に応じた指導のための教材の開発 基礎・基本を定着させる教材、少人数授業における教材、習熟度や学習課題に応じた教材の開発 ・生徒の学力の評価を生かした指導の改善 評価規準の活用、自己評価や他者評価など生徒の評価を活用した授業づくり、少人数授業アンケートの実施、NRT など各種テスト結果をふまえての指導の工夫改善
----------------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 学びの喜びを引き出し、基礎・基本を定着させる指導の工夫 研究の見通し 15年度の各教科における研究実践に一定の成果がみられたことから、各教科において、15年度の課題を検討した上で、引き続き指導方法・指導体制の工夫改善や教材開発、評価を生かした指導の改善に取り組み、学びの喜びを引き出し、基礎・基本を定着させることができるだろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の見直し ・各教科の研究実践の修正と拡充 (少人数授業やTTを生かした単元・授業づくりやそのための教材開発、補充的な学習や発展的な学習を取り入れた単元・授業づくりやそのための教材開発、様々な評価を生かした指導の改善 など) ・放課後の補充学習や家庭学習を充実させる取組 ・研究授業の公開 ・実践研究のまとめ
----------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

各教科における「学びの喜びを引き出し、基礎・基本を定着させる指導の工夫」に一定の成果が見られた。

○個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善

- ・国語では、1学級当たりの生徒数が多い1・2年生では通年で、1学級当たりの生徒数が比較的少ない3年生では単元によって、少人数授業を導入した。その結果、きめ細かな指導が可能になったことで、1年生の80%以上が「集中できる」「よく分かる」とアンケートで答えるなど、どの学年でも学習意欲や理解が高まった。さらに国語における少人数授業の特性や効果についても考察できた。来年度は、個に応じた指導を生かした単元の開発を継続・発展させたい。書写の領域においては、地域の講師を招いて個別指導を実施したところ、字形を整えて書こうとする生徒が増えた。
- ・英語では、14年度の成果・課題をふまえて各学年の状況に応じて少人数授業・習熟度別授業を導入した。また、習熟度別授業の各コースに適した指導方法を工夫した。その結果、生徒の授業態度も積極的になり、基礎・基本を従来より効果的に定着させることができるようになった。
- ・14年度少人数授業を通年で実施した数学では、15年度は免許所有の教員が一人になったため、TTの体制をとり、14年度に成果をあげた補充的な学習や発展的な学習などの個に応じた指導を取り入れながら指導にあたった。具体的には、再テストや反復練習の実施、学び直しノートの活用、授業における生徒の解き方説明の時間の確保などに重点的に取り組んだ。その結果、授業への集中力や基本的な計算力の向上が見られた。また、躓きに気づきどこを学ぶべきか判断できる生徒が増えてきた。
- ・社会では、地域の講師を招いた授業により社会的事象への関心が高まった。
- ・選択技術では、地域の講師を招いて木工製作作業を行うことにより、生徒の技術の向上が見られた。
- ・技術では、パソコン活用において、ローマ字入力等の基本的な操作に躓きの見られる生徒に対し、補充的な指導を行った。

○個に応じた指導のための教材の開発

- ・国語では、少人数授業を生かした選択型課題学習のワークシートを作成したり、「書くことにより、考えを整理して表現する力」を身につけるためのワークシートを開発した。その結果、じっくりと考える姿勢や考えを整理して表現する力が身につけてきた。
- ・英語では、発展コースで、会話で使える表現シートを開発・活用したところ、基本的なコミュニケーション能力が向上した。基礎コースでは、既習単語復習リスト、構文活用カード等を開発・活用したところ、単語力や文法理解力が向上し、学習意欲の高まりにつながった。

○生徒の学力の評価を生かした指導の改善

- ・音楽では、ワークシートの活用によって、生徒の自己評価を生かした指導の改善を図ることにより、生徒の合唱への取組が意欲的になった。
- ・技術では、基本的なタイピング能力の定着を図るため、習熟の程度に応じた課題を設けて反復練習と実技テストを行いながら、評価を生かした指導を実施した。さらに、学習後には生徒の進歩の状況を重視した評価を導入した。
- ・少人数授業アンケートを実施することにより、コース選択の適否、学習意欲、理解度、生徒の希望を把握・分析し、少人数授業の改善がなされた。
- ・各教科や各学年において、定期試験やNRTの結果を分析し、生徒の躓きや傾向を把握して対策を講ずることができた。

2. 今後の課題

- 少人数授業やTTを生かした単元や授業をさらに開発していく必要がある。
- これまでに作成した個に応じた指導のための教材を工夫改善し、新たな教材を開発する。
- 各教科における学習意欲や学力の現状に対する評価・分析をさらに進め、基礎・基本の定着を図る指導を充実させる。
- 授業で学習したことを確実に定着させるには、授業以外の学習にも力を入れる必要があるため、家庭学習や、放課後の補充学習を充実させる取組や放課後を行う。

学力把握のための学校としての取組

少人数授業に関する意識調査 目的：少人数授業そのものや選択したコースについて、生徒がどのように受け止めているかを把握し、指導に役立てるため。 時期：各学期 内容：学習内容の理解、学習意欲、一斉授業と比べた際の利点 など N R T (集団基準準拠 教研式標準学力検査) 目的：生徒の学力や学習集団の学力構造を把握し、適切な指導を行うため。 時期：9月初旬

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

授業公開並びに教科別分科会の実施 日時：平成15年11月19日 場所：本校 対象：益田教育事務所管内小・中学校の希望教員、保護者、学校評議員など 日原町学校教育研究会研究集録への掲載 時期：年度末 対象：日原町内教職員 管内フロンティアスクール(中学校)のフロンティアティーチャーと情報交換 日時：平成16年1月15日 場所：本校 * 授業公開の資料が管内フロンティアスクール(中学校)の校内研修で活用されたとの報告を受けた。
--

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無